

令和7年度 佐賀県看護職員認知症対応力向上研修

カリキュラム

[目的]

認知症の人と接する機会が多い看護職員に対し、医療機関等に入院から退院までのプロセスに沿った必要な基本知識や、個々の認知症の特徴等に対する実践的な対応力を習得し、同じ医療機関等の看護職員に対し伝達をすることで、医療機関内等での認知症ケアの適切な実施とマネジメント体制の構築ができる。

日程	研修内容		講師等
I 認知症に関する知識 講義 (180分) 10月4日(土) 9:30～12:30	ねらい	認知症の人の入院から退院までのプロセスに沿って、認知症の原因疾患の病態・特徴等の基本知識を習得する	講義 江里口誠 市丸徳美 池田貴子 林田佳奈 梅野多恵 藤本亮一 中島珠美 演習支援 市丸徳美 池田貴子 林田佳奈 梅野多恵 藤本亮一 中島珠美 久本由香
	到達目標	1. 病院における認知症の人の現状や課題を理解し、修了後の役割を理解する。 2. 実践対応力の前提となる認知症の原因疾患の主な症状や特徴を理解する。 3. 認知症の人を支える施策・制度及び社会資源等を理解する。	
	主な内容	【意義と役割】 ① 研修の目的・意義 ② 一般病院等での認知症の現状と課題 ③ 病院及び看護師の役割 【認知症の病態論】 ① 認知症の原因疾患の特徴・病態 ② 認知症機能障害と認知症に伴う行動・心理症状(BPSD) ③ 認知症と鑑別すべき他の疾患(せん妄等) ④ せん妄の特徴や症状 ⑤ 認知症の診断と治療(薬物療法と非薬物的療法) ⑥ 若年性認知症の特徴 ⑦ 認知症の重症化予防 【施策・社会資源等】 ① 共生社会の実現を推進するための認知症基本法 ② 認知症施策	
II 認知症看護の実践対応力 講義(330分: 4日:180 15日:150) 演習(120分)	ねらい	認知症の人を理解し、より実践的な対応力(アセスメント、看護技術、チーム対応、院内外の連携等)を習得する。	
	到達目標	1. 認知症及び認知症の人とその対応の原則について理解する。 2. 認知症の症状・特徴を踏まえた基本的な対応(アセスメント、看護技術、環境調整等)を行うことができる。 3. 病棟等における実践的な対応(チーム対応、院内外の連携、介護者支援等)を行うことができる。	
	主な内容	【認知症の人の理解】 ① 認知症の人の行動等の理解 ② 認知症の人に対する看護の基本原則(パーソン・センタード・ケア) ③ 認知症の人のコミュニケーションの基本	

10月4日(土) 13:30～16:30 10月15日 (水) 9:30～16:30		【実践対応力Ⅰ】 ① アセスメントのポイント ② 認知症機能障害への対応 ③ 認知症に伴う行動・心理状態(BPSD)の要因・症状と対応 ④ 身体管理・症状経過を踏まえた対応 ⑤ せん妄への対応 ⑥ 退院支援 【実践対応力Ⅱ】 ① 病棟等におけるチーム対応の意義 ② 多職種連携 ③ 倫理的課題と意思決定支援・権利擁護 ④ 身体拘束の原則等 ⑤ 家族・介護者への支援 ⑥ 社会資源と地域連携 【演習】 認知症に伴う行動・心理症状(BPSD)・せん妄への対応の事例検討 【演習】 身体拘束への対応の事例検討(チーム・連携による対応)	講義 市丸徳美 池田貴子 林田佳奈 梅野多恵 藤本亮一 中島珠美
Ⅲ 体制構築・人材育成 講義(90分) 演習(300分) 10月29日 (水) 9:30～16:30	ねらい	病棟等における認知症ケア体制(院内・地域)の構築及びスタッフ育成・教育等の知識と技法を習得する。	演習支援 市丸徳美 池田貴子 林田佳奈 梅野多恵 藤本亮一 中島珠美 久本由香
	到達目標	1. 病院・病棟の課題を把握し、体制等の実情に応じて、病院・病棟や地域単位で認知症ケアに取り組む体制の構築を考えることができる。 2. 自施設において看護職員向けの研修を企画・実施し、継続学習を含むスタッフ育成計画を立てることができる。	
	主な内容	【認知症ケア体制構築】 ① 病院・病院全体で取り組む重要性 ② 体制構築に向けた取り組み 【スタッフ育成・教育】 ① スタッフ育成の目標設定 ② 研修の企画立案・研修実施のポイント ③ 研修の効果測定と受講後のフォローアップ 【演習】 自施設の課題整理と改善に向けた方策(GW) 1. 課題整理から行動計画立案(認知症ケアの体制整備まで) 【演習】 研修の企画立案と研修評価・フォローアップの検討(GW) 1. 研修の企画立案・評価 2. 研修の受講後のフォローアップ	